

第 64 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

1. 日 時:2013 年 5 月 29 日(水)13 時 30 分～16 時 10 分

2. 場 所:日本機械学会 第 1 会議室

3. 出席者:(委員 21 名中、出席者 19 名(うち代理 2 名)、欠席者 2 名)

小溝(阪大)、藤田(三菱重工)、飯田(東電)、木村(NIMS)、三好(川崎重工)、
西村(日立)、大橋(IHI)、松本(東芝)、佐藤(発電技検)、
築山(パブ日立)、三原(富山大)、天野(早大)、岡(富士電機)、
西川(自家発懇話会)、屋口(電中研)、鈴木(電源開発)、鈴木(電気協会)

代理者:椎名[野井(ロ仆)], 中村[奥村(中電)]

欠席者:高西(関電)、長谷川(新日鐵住金)

オブザーバ:堀江(火原協)、松田(HSB ジャパン)、野田(経産省)、樺田(三菱重工)、茂田井(東電)

事務局:海野(記)

4. 配付資料

64-1 . 第 63 回火力専門委員会議事録(案)

64-2 . 専門委員会・分科会委員案

64-3 . 第 64 回規格委員会議事録(案)

64-4- (1) 材料分科会報告, (2) 構造分科会報告, (3) 溶接分科会報告

64-5 . ASME 規格値取込み方針内規発電用設備規格委員会書面投票結果報告

64-6 . ASME 規格値取込み方針内規発電用設備規格委員会書面投票意見対応案

<以下, 会議後電子ファイルを共有>

参考1) 倫理規定検討規格委員会提案

参考2) 発電用設備規格委員会補足倫理規定案

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 64-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 専門委員会委員、役員の承認

(2-1) 専門委員会委員の承認

[資料 64-2]

火力専門委員会の以下の委員の再任意向および新任候補が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で、次回規格委員会に推薦することが承認された。また、以下の退任委員が報告された。

・ 火力専門委員会: (退任) 田村 吉章 委員, 引田 一史 委員, 奥村 智之 委員

(新任候補) 堀江 嘉彦氏(火原協), 松田 淳氏(HSB), 野田 豊和氏(経産省)

(再任候補) 築山 忠佳 委員

各分科会の以下の新任候補の推薦および以下の委員の再任意向および役員の互選による

推薦が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で承認された。

- ・ 材料分科会: (新任候補)野口氏(新日鐵住金)
(退任)伊勢田委員
(再任)清水委員, 戸田委員
- ・ 構造分科会: (新任候補)なし
(退任)なし
(再任)堤田委員
- ・ 溶接分科会: (新任候補)長谷川氏(発電技検)
(退任)橋本委員
(再任)青山委員, 幅野委員, 原田委員
(主査候補)青山委員(再任)
- ・ 配管減肉分科会: (新任候補)堀江氏(火原協)
(退任)田村委員
(再任)なし

(3) 規格委員会、分科会他報告

(3-1) 発電用設備規格委員会報告

[資料 64-3]

第64回規格委員会の審議内容のうち、火力専門委員会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 日本機械学会倫理規定の発電用設備規格委員会用補足倫理規定制定案が規格委員会での書面投票開始が承認され、順次専門委員会での書面投票開始することも承認されたことを報告
- ・ ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規案の書面投票開始の承認
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-2) 材料分科会報告

[資料 64-4-1]

木村委員(材料分科会主査)が第67回材料分科会(H25.5.9)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2013年8月5日(月)に開催予定。

- ・ ASME 規格値取込み方針内規に関する規格委員会書面投票結果が報告され、火力担当分の意見対応案について材料分科会に関連する内容が無いことが確認された。
- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。

(3-3) 構造分科会報告

[資料 64-4-2]

飯田幹事(構造分科会主査)が第76回構造分科会(H25.5.10)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2013年8月1日(木)に開催予定。

- ・ ASME 規格値取込み方針内規に関する規格委員会書面投票結果が報告され、火力担

当分の意見対応案について審議された。

- ・ 材料分科会への検討依頼事項のうち「ASME B 31.1 材料のⅢ章への適用」についてⅢ章 PG-58 での要求事項の記載内容も考慮して、必要性について審議された。審議の結果、PG-58 の記載から、ボイラ外部配管の材料はⅤ章に準拠する事が読み取れることから検討依頼を取り下げることとなった。「ASTM/ANSI または ASTM 材料をⅢ章に適用する場合の注釈」については、引き続き検討依頼を行うこととなったことが報告された。
- ・ 審議履歴表を元に ASME 2011Addenda のレビュー票審議の状況について報告された。
- ・ JSME 規格基本規定に、省令に規定する「耐圧部分」の定義(内面に0MPaを超える圧力を受ける部分)に加え、適用範囲を示す文(100kPaを超える圧力の蒸気を発生するボイラおよび内面に 100kPa を超える圧力を受ける耐圧部分)を追加する改訂案が報告された。修正提案・意見・コメント等があれば、飯田幹事まで連絡することとした。

(3-4) 溶接分科会報告

[資料 64-4-3]

茂田井氏(溶接分科会幹事)が、第55回溶接分科会(H25.5.16)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2013 年 7 月 10 日(木)に開催予定。

- ・ ASME 規格値取込み方針内規に関する規格委員会書面投票結果が報告され、火力担当分の意見対応案について審議された。
- ・ 審議履歴表を元に ASME 2011Addenda のレビュー票審議の状況について報告された。

(3-5) ASME 規格値取込み方針内規発電用設備規格委員会書面投票結果報告 [資料 64-5]

標題の件、発電用設備規格委員会での書面投票結果を報告した。

◎ 発電用設備規格委員会書面投票結果

書面投票番号:No. 218

投票議案名:発電用設備規格委員会「ASME 規格値取込み方針内規」提案の承認

書面投票期間:2013年3月14日～2013年4月15日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(23 票)の 24 票の投票があり、投票成立

投票採決:投票数の3分の2以上(16 票)の 22 票の賛成票があり、意見付反対票がなかったため、投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 28 名中	賛成 22 名
	反対 0 名
	保留 2 名
	不投票 4 名

(4) 審議事項

(4-1) ASME 規格値取込み方針内規発電用設備規格委員会書面投票意見対応案 [資料 64-6]

保留意見、参考意見のうち、火力設備規格に関係するものについての対応案について、審議を行った。

審議の結果、対応案の通りとし、原子力専門委員会側の案とあわせて規格委員会に提案することとなった。

(4-2) 発電用設備規格委員会倫理規定制定案について

[当日資料配布なし、会議後参考1、参考2を会議資料として共有]

今後、原子力規制委員会からは規格策定を行う学協会に対して、公平性等をより強く要求する動きも強まることが想定され、発電用設備規格委員会自身のガバナンスを向上させることが重要であることから、日本機械学会倫理規定を基に、発電用設備規格委員会の活動全体をカバーする補足規定案が規格委員会で提案された。規格委員会での審議の結果、規格委員会での書面投票の実施が承認され、各専門委員会でも順次書面投票を行うこととされた。これを受けて、先日程行われた規格委員会での書面投票時点での提案資料の説明を行った。

火力専門委員会での書面投票開始について審議したが、初めて紹介された内容でありかつ配布資料も無い中で、書面投票を開始してよいかを判断できないという意見があり、次回の専門委員会であらためて書面投票開始について審議することとした。提案資料はJSME 発電用規格委員会 HP の委員会共有スペースにアップし、次回火力専門委員会までに各委員が提案内容を確認することとした。また、投票意見対応等により、途中で提案内容が変更となった場合には、適宜事務局より情報提供することとした。

6. 次回開催予定

日 時: 2013 年 8 月 20 日(火) 13:30～17:00

場 所: 日本機械学会 第1会議室

以 上